

# 梅花香自苦寒来

## 研究テーマ

東アジアの国々の人々が近代西洋文明のなにを受け入れ、なにを拒んだのかという視点から、主に日本と中国を比較して共通点や相違点を検討しています。

## 研究の道へ進んだきっかけ

進学した大学院がとても刺激的な環境でした。先生方や院生たちが熱心に研究に打ち込み、活発な議論を交わす場に身を置き、知的興奮を覚えました。自分も同じように学問の道を進みたいと考え、作成した修士論文が評価され、単著「断髪」として出版されました。サントリー学芸賞とアジア太平洋賞特別賞を受賞し、その後、京都産業大学に職を得て今日に至っています。

## 研究者になってよかったと思うこと

好きなことを職業にし、社会に役立つ仕事ができることです。もちろん、大学の教員として組織の中に身を置いているのですが、専門分野の研究や教学においては自由度が比較的高く、時間もある程度自己コントロールできます。その分、常に怠慢を自戒し、自分を厳しく律することも不可欠です。

## 座右の銘

座右の銘というほどのものではありませんが、落ち込んだ時に「梅花香自苦寒来」、梅の花は寒さに耐えて香りを放つ、人は艱難辛苦に耐えて成長するという言葉を思い浮かべます。

## 研究とプライベートの両立で工夫していること

教学や研究はプライベートの時間であっても途切れることはありません。出来る限り優先順位を付けるようにしています。家庭をもち、親でもあるので子供が幼い頃は研究が疎かになりがちでした。その時にしかできないことがある、と割り切ることも時には必要かもしれません。

## 未来の研究者へ一言

「契而不舍」という中国の成語があります。根気よく物事を続けるという意味ですが、小休止があつたとしても続けることが大事です。

## My Hobby

読書、映画鑑賞、散歩

## BEST SHOT



畠山 香織

HATAKEYAMA Kaori

京都産業大学 外国語学部 教授  
専門分野：比較文学比較文化

## 略歴

1993年3月 東京大学大学院総合文化研究科  
比較文学比較文化専攻  
博士課程単位取得満期退学  
学術修士（東京大学大学院）

1993年4月より京都産業大学外国語学部  
専任講師、同助教授・准教授を  
経て現職

## 最近の主な論文・評釈

### ●論文：

1. 中国における日本理解の一側面―「武士道」をめぐる  
京都産業大学論集・人文科学系第46号 2013
2. 辜鴻銘の『中国人の精神』  
(The Spirit of the Chinese People)について  
京都産業大学論集・人文科学系第45号 2012
3. 辜鴻銘の『日露戦争の道徳的原因』について  
京都産業大学論集・人文科学系第41号 2010
4. 辜鴻銘のキリスト教認識と批判  
京都産業大学論集・人文科学系第39号 2008

### ●著書：

1. 叢書 比較文学比較文化 第四巻 東西の思想闘争(共著)  
中央公論社 1994
2. 内なる壁―外国人の日本人像 日本人の外国人像(共著)  
TBSブリタニカ 1990
3. 断髪―近代東アジアの文化衝突(単著)  
朝日新聞社 1990

## 研究紹介

比較文化史に興味を抱いています。中国、日本その他東アジア文化圏が近代西洋文明を受け入れた結果、伝統的な社会や文化にどのような変化が生まれたかについて考えています。また、19世紀前後に欧米に赴いたアジアからの外交使節や留学生の体験、西洋世界から日本や中国を訪れた人たちの時代記録にも関心があります。さらに日本と中国の相互認識の歴史というのも大きなテーマです。

